

正 観

2017. 1. 元旦 発行

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会 長 遠藤 勝雄 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

新年明けましておめでとうございます。国際社会人剣道クラブの会員の皆様方におかれましては、新春の息吹を身体中で感じ、昨年にも増してより一層の飛躍を心に誓ったことと思っております。どうぞ新年の誓いをしっかりと実行されまして自らの夢の実現に向かってご精進されますように祈念しております。

常日頃より皆様方には、当クラブの運営に際しまして、温かなご支援、ご協力をいただき改めて感謝申し上げます次第であります。今年も東北クラブ、心をひとつに計画的に事業を進めてまいります。なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

皆様方のますますのご健勝、ご活躍を祈り、新年のご挨拶といたします。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北クラブ

会長 遠藤 勝雄

1 山形県米沢市例会の報告

昨年10月22日・23日の両日、山形県米沢市の三條かの記念館において東北地区例会を開催いたしました。ご高配賜りました三條貞夫先生には改めてお礼申し上げます。本来であれば岩手県での開催番でしたが、岩手国体が同月にあり、関係者のご負担を配慮して前回と同じ米沢市での開催となりました。

例会初日は、遠藤会長が審査員となって審査研修を実施しました。その後、遠藤先生、曾根先生から岐阜県で開催の全国例会に向けての強化を兼ねての指導稽古をいただきました。



そして、稽古の後は紅葉で華やかに彩られた山のいで湯で掛け流しの温泉に浸り、身を清め、銘酒に舌鼓、肴は剣道談議とすべてが揃った絶好の振り返りの機会を持てたのは言うまでもありません。

懇親会の席上、曾根先生が東北地区幹事長から全国組織の国際社会人剣道クラブ理事長に就任されたため、後任として山形県の三條先生が選任されました。曾根先生には長年のご労苦に対して遠藤会長から記念品が贈呈されました。28年の長い間、東北地区クラブで辣腕をふるって頂いた曾根先生に対し会員一同より心からの深謝と敬意を表したいと思います。

また、三條先生の所信表明、小淵俊江先生の六段合格の報告や全国例会に向けての激励もあり、和やかな雰囲気の中に酒宴が繰り広げられました。

二日目は遠藤会長のご指導により「無理なく、無駄なく、無法なし」の剣道を目指して理合をはこぶ為の「攻め」の実技講習をしていただき、大変充実した例会となりました。

遠藤会長、曾根先生、そして参加いただきました会員の皆様に改めて感謝申し上げます。今年は是非北上例会を実施いたしますのでよろしく願いいたします。

(1) 参加者（敬称略・順不同）

遠藤勝雄、曾根孝悦、石田慶節、阿部東司、三浦隆明
小林房雄、小野松悦、中村 等、江俣和代、小淵俊江
種村信行、遠藤近志、三條貞夫、三枚橋竹人（稽古のみ）



2 宮城県岩沼例会のご案内

2017年の幕開け、新年の地区例会を下記のとおり開催いたします。誓いを新たに、良い年のスタートを切りましょう。

11月の東京審査会では本当に惜しいところを逃してしまった会員が多くいました。遠藤会長、曾根先生は実際の審査員の立場にあって、本人以上の悔し涙を抑えたとのこと。この結果を踏まえて、今度の地区例会では課題解決のきっかけづくりをしようと考えています。終わったかと思えば、たちまち5月の審査が迫ってきます。是非この地区例会で昇段の秘訣、糸口でも見出してください。できるだけ多くの会員の皆様のご参加をお勧めします。

新年は新年で忙しいこととは思いますが、研鑽を積むには時間の調整、身体のやりくりは当然付きものです。万障繰り合わせてのご参加をお待ちしていま

す。同封のはがきにより1月12日必着で申し込み願います。欠席の場合でも必ず返信してください。どうぞよろしく願います。

(1) 日 時 1月21日(土) 午後3時開始 審査研修・稽古等
午後7時 懇親会

22日(日) 午前9時開始
午前11時終了 入浴して解散

(2) 会 場 グリーンピア岩沼・「ホテルモンタナリゾート岩沼」
住所 〒989-2455 宮城県岩沼市北長谷字切通 1-1 グリーンピ
ア岩沼 TEL 0233-24-4455

(3) 宿泊費 12,000円

3 審査会合格者の報告

六段(北海道総合センター)

小淵俊江(宮城県)

六段(エスフォルタアリーナ八王子)

田中嶋広安(宮城県)

七段(東京武道館)

阿部東司(宮城県)

教士

小畑新也(宮城県)

先生方の快挙に心からお喜び申し上げます!

4 岐阜県羽島市・全国例会の報告!

(1) 総会

11月5日「かんぽの宿岐阜羽島」において臨時総会が開催されました。曾根理事長が議長となり、前日行われた理事会の議事内容が満場一致で可決されました。

(1) 平成28年度第18期補正予算案、(2) 平成29年度19期事業計画案、

(3) 平成29年度19期予算案

(5) その他 ① 29年度海外交流事業について、

台湾高雄市国際交流大会、3月18日、19日

ラトビア・ベラルーシ・リトアニア剣道親善交流

5月24日～6月3日

韓国社会人剣道大会(ソウル)7月

チェコ・クロアチア・オーストリア交流 10月13日～24日

全国例会は中国地区主管、鳥取県米子市にて11月10日～12日

全国総会は5月3日京都、平安の森京都にて行うことが了承されました。

(2) 全国例会



秋も深まる「かんぽの宿岐阜羽島・付設体育館」を会場に、11月4日（金）から11月6日（日）の3日間、全国から91名、台湾31名、韓国25名、総勢147名の参加者により、全国例会が盛大に開催されました。

4日の合同稽古、5日、6日の朝稽古には台湾、韓国の方々も大勢参加され、元立ちの八段の先生方をお願いしたり、お互い同士の稽古では皆さんの常日頃の修練振りを感じることが出来ました。

5日の午後から審査研修会があり、2会場で4組ずつの立合いがありました。台湾の方々も大勢参加、熱心な研修をされました。審査終了後、開会式と集合写真の撮影が行われ、女子個人戦となりましたが、東北地区からただ一人参加の古濱先生は1回戦で韓国の金先生に延長の末、惜しくも敗れてしまいました。

続いて全体稽古となり、参加された八段の先生を元立ちに活気ある稽古が繰り広げられました。

夜の懇親会は伝統芸能の芸妓さんによる「岐阜をどり」を鑑賞しながら、懇親を深め、大変な盛り上がりのなか終了しました。

6日は早朝より男子個人戦、国別・地区別団体戦が行われ、各試合場とも熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです

東北地区からは団体戦優勝奪還を誓い、先鋒に三浦均、次に遠藤事務局長、中堅は三枚橋竹人、副将三條幹事長、大将に曾根理事長の布陣で臨みました。前回にも増して大将の勝負に対する気迫に後押しされた各人は大健闘して韓国A、東海Bを撃破、準決勝では優勝した東海に1対2で惜しくも敗れ、悲願達成はなりませんでしたが来年に繋がる素晴らしい戦いでした。



□ 個人戦 男子の部

優勝 橋田幸平 (関東)
 準優勝 増尾浩樹 (関東)
 三位 菊池雅樹 (東海) 朴 溶 (韓国)

□ 個人戦 女子の部

優勝 木村美紀 (東海)
 準優勝 西地治美 (東海)
 三位 安田由美子 (近畿) 畑中章子 (近畿)

□ 団体戦

優勝 東海地区Aチーム
 準優勝 関東地区 A チーム
 三位 東北地区チーム ・ 韓国C チーム

□ 敢闘賞

陳信寰(台湾) 朴溶(韓国) 菊池雅樹(東海) 三條貞夫(東北) 西地治美(東海)



5 国際社会人剣道クラブのホームページ

<http://www.npo-igkc.or.jp>

ホームページを活用してください。各地区クラブの会報が掲載されています。

6 垂名札及びウィンドブレーカーの作成！

中国地区 岩田啓司会員の関係者が、国際社会人剣道クラブのために、ウィンドブレーカーを作ってくださいました。サイズは数種類、袖の部分はゴムで絞るタイプ。裏生地なく、肩から背中部分に網目ネット使用。現在は、注文製造の為、1枚3,500円です。

また、IGKC入りの名札作成については、一点あたりの金額が3,900円です。どちらでも希望される会員は事務局宛申し込み願います。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

関東地区クラブ

幹事長 豊田末雄氏 埼玉県さいたま市浦和区

メールアドレス：toyodasueo@gmail.com

東海地区クラブ

幹事長 井上一久氏 愛知県豊田市

メールアドレス：k-ino22@hm5.aitai.ne.jp

近畿地区クラブ

幹事長 岡本洋子氏 兵庫県神戸市東灘区

メールアドレス：okmt0082@biscuit.ocn.ne.jp

中国四国クラブ

幹事長 金尾静一氏 広島県福山市

メールアドレス：kanao-0522@amethyst.broba.cc

九州地区クラブ

幹事長 佐藤博喜氏 福岡県久留米市

事務局担当：中道 メールアドレス：nakamichi3303@outlook.jp



編集後記

新年の年頭に嬉しいご報告と共に「正観」第62号をお届けすることができた事を大変喜ばしく感謝しております。

改めて曾根前幹事長のご尽力に深謝し、これからは全国組織の理事長としてお力を十分に発揮され益々ご活躍して頂くことを祈念いたします。

今後は三條新幹事長のもと編集員一同、東北地区クラブの活動を盛り上げる一助として会報を受け継いでまいります。皆様には記事執筆のご協力をお願いするかもしれません。お支えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。